

地域戦略人材塾 第9回「フューチャー・デザインの基礎理論」

(講師：西條辰義先生)

コメントシートのおまとめ

今回のコメントシートには、特にご質問、ご要望等はございませんでした。皆さまの感想などを以下に取りまとめましたので、ご覧ください。

- ・未来人になりきって考えることでこれからの町づくりについて考えることができた。
- ・未来人になりきることでこれからの土地利用を考えることができると思う
- ・概念自体は理解することができ、人類の歩んできた失敗の例も取っ付きにくいとは感じませんでしたが、未来人としての考え方というか、手法のところは難しいと感じました。
- ・おそらくすぐに実践することは難しい内容かと思いました。
- ・未来人になって考えるという発想を得ることができ、考え方が変えられそうな気がします。
- ・今後の農業・基盤整備に未来の視点を役立てそうだと思います。
- ・手塚治虫さん、藤子不二雄さんなど、かつて未来をイメージした漫画家は、偉大なるフューチャー・デザイナーだったのだという発見がありました。
- ・八王子市内で自身が参画している「地域ビジョンとアクションプラン」の策定作業に役に立つ視点です。
- ・グループの中で仮想将来人が少なくても影響力が大きく働くのは、仮想未来人ではない人には「楽観的」な志向があるにも関わらず、仮想将来人の発する「未来志向」、「あるべき姿」といった思考に魅力を感じるからだと思えますが、簡単に流れる理由が分かりません。不思議です。
- ・どうしても自分達の幸福のことを考えて生きがちだが、将来の世代のことを考え行動することで、より良い社会を創っていけるということに気づかされました。
- ・将来のビジョンや政策を考える上での一つの手法として活用できそうな気がする。
- ・事前資料を見ることができなかつたため、再度資料と講義を見直したいと思います。
- ・将来世代のことを考えながら行動することは役場職員にとっても重要なことだと感じます。

- ・プレゼント・デザインからフューチャー・デザインに至る間に、パスト・デザインを経由する必要性と、その効果について驚きがあったとともに、過去の自身を振り返り、実際の思考パターンを実体験に重ね合わせ、とても腑に落ちる感覚になりました。
- ・他業務によりゆっくり聞けなかったこともありますが、なかなか難しい視点の話だと感じました。次回、理解を深められればと思いますが、未来をデザインする柔軟い考え方ができるようになれば良いなと思います。
- ・幅広い考え方で目の前の課題ではなく将来の課題を想定しながら業務を実施していくという考え方は非常に活かせると思いました。
- ・フューチャー・デザインの考え方をを用いて、市の総合計画などの策定をすると具体的な方向性が見えやすくなると考えます。
- ・ハーバー・ボッシュ法以来の世界の流れからのフューチャー・デザインの話は腑に落ちました。

お忙しい中、皆さまからたくさんのご感想を頂戴いたしました。

ありがとうございました。

地域戦略人材塾 事務局